

学校だより



津市立榎形小学校
R3.11.9発行
第11号 文責：校長

♪♪♪ ～11/2(火) くしがたコンサート開催～

榎形小学校では、今年も“歌でつながろう ひびき合おう”を合言葉に、子どもたちは音楽活動に取り組んでいます。今年度、8月に三重県に緊急事態宣言が出され、2学期は10月からしか合唱に取り組むことはできませんでした。でも、だからこそ、10月からの1ヶ月の短期間で6年生が中心となって、それぞれがめあてを持って悔いの残らないようにと、コンサートに向けて集中した取組を行いました。



低学年は「村まつり」、高学年は「夢色シンフォニー」、そして全校での「ピリーヴ」、歌詞の意味や歌詞に込められた想いを考え、歌声で表現できるように練習を重ね、11月2日の本番を迎えました。体育館フロアでないと子ども同士の距離を確保することができず、保護者の方に入っていたことができなかつたため、当日は、ビデオカメラの向こうの聴いてくださる人たちに向かって、子どもたちは想いが届くように心をこめて精一杯表現しました。すべての曲が終わった後、「昨日より歌声がきれいでした。」「これまで練習してきたことをすべて出し

切って、体育館中歌声を響かせることができました。」「今まで練習したことを今日の本番で出し切れて、思い出に残るくしがたコンサートになりました。」等の感想を会場で発表してくれました。全校合唱では、これまで合唱の経験を積んできた上の学年が下の学年を引っ張ってくれて、ソプラノとアルトが素晴らしいハーモニーを奏でてくれました。ソプラノの優しい声にアルトの支える声美しく重なり合って響く「天使の声」は、まさに榎形小学校の誇りであると改めて感じました。最後に、児童会会長さんも「6年間でくしがたコンサートの取組をがんばってきました。苦しいときもあったけれど最後までがんばりぬき、みんなときれいなハーモニーを響かせることができました。ぼくにとって小学校生活の大切な思い出です。これからも、全校みんなの力で歌が大好きできれいな歌声の榎形小学校にいきましょう。」と力強く感想を述べてくれました。今年度のくしがたコンサートは、保護者の皆様には11月5日付け文書でお知らせさせていただいたように、「津



市e-Learningポータルサイト」の「榎形小学校学校行事」にて現在配信中です。12月23日(木)までの期間限定ですので、お子様と一緒にご覧いただき、お子様に感想を伝えていただけると嬉しいです。

コロナが収束し、保護者・地域の皆様にもまた以前のようにくしがたコンサートに来ていただき、子どもたちの歌声を直接届けられる日が来ることを願っています。

～くしがたコンサート後の1年生のあのねちょう（日記）より～

きょうは、くしがたコンサートがありました。ゆめいろシンフォニーをこう学ねんがうたっていました。いいきもちになりました。またききたいです。こう学ねんのうたが、きれいなうただなとおもいました。大きなこえがたいいくかんにひびきました。たのしかったです。

てい学ねんのむらまつりがいつもよりきれいなうたができてうれしかったです。1ねんせいと2ねんせいと3ねんせいがまぎって、きれいでした。

みんなでピリブをうたいました。たのしかったです。またやりたいです。くしコンがおわって、やさしいきもちになりました。

～くしがたコンサート後の6年生の振り返りより～

くしがたコンサートでは、私は心をつにして歌いたいと思っていました。本番の夢色シンフォニーでは、いつもよりも一音一音に気持ちを込めて歌いました。そうすると、自分の気持ちとみんなの気持ちが一緒になったと思い、気持ちよく高音から低音までひびかせることができました。ピリブでは一言ずつを大切に、みんなと気持ちを合わせられるように歌うことができました。私にとっては、このくしがたコンサートが最後だから、思い出に残る歌声が聞けて、歌えてよかったです。



～読書を楽しもう～

楡形小学校には、図書館司書の村山先生が毎週月曜日に来て、子どもたちへの読み聞かせや、図書委員会活動のサポート等、子どもたちの読書活動を推進して



らっています。そして、図書館ボランティアの保護者や地域の方も毎週

来ていただき、子どもたちが来室しやすい図書室にと、環境整備や本の修理等をしてくださっています。本校の行動計画にも読書活動を位置づけ、楡形タイムを利用した朝の読書等、本に親しみをもち、読書の好きな子どもたちを育てようと取り組み、年間一人50冊以上の貸し出しを目標にしています。緊急事態宣言期間中は自粛していたお話会も、再開しました。読書によって、今まで知らなかった世界に触れてみたり非日常を体験したりして、自分の世界を広げてほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴うおもな行事の変更について

- ・例年実施していた体づくり運動（1・2年は体づくりの運動遊び）の分野での駆け足運動、持久走大会については、マスクを着用しての駆け足や持久走は難しいことから、本年度は、種目を変更し、大なわでのくぐり抜けや回旋跳びの運動、大なわ大会に変更します。6年生の修学旅行が終了してから業間大なわ運動を開始する予定です。
 - ・12月4日（土）に西郊中学校体育館で開催する予定だった人権フェスティバルは、今年度も集まって実施することは難しいことから、昨年度同様、本年度も形を変えて行います。各学校の取組をリーフレットにして保護者の方には配付、地域へは回覧します。また、各学校の取組（楡形小学校では3・4年生の取組）は、校内の集会で発表し、録画して各校に配付し交流します。
- *今後の状況等によっては、さらに中止や変更も考えられます。ご理解とご協力・ご支援を賜りますようお願いいたします。